

## ‘10年3月13日 メシエマラソン

by kuma

3月13日。いつもの湯河原まで観望に行ってきました。

この日は丹星の月例観望会とあって、友人を含め総勢9名のメンバーが集まりました。

今日は久しぶりに**メシエマラソン**を敢行する予定で今年初登場となるキティードブを持参しましたが、18時前に現地入りした時点ではあろうことか凄まじいまでの強風が吹き荒れています。車のドアは風の勢いで持っていかれそうだし、立って会話をする事すら困難で、これでは機材の設置は到底無理です。

日没までには半数以上のメンバーが到着。皆一様にこの強風を嘆いていましたが、19時過ぎにやや風の勢いが治まった頃合いを見て、私以外は各々機材の設置を開始します。

20時頃には先ほどまでの強風が嘘のように治まりましたが、私は昨年富士山で強風に遭遇した時の悪夢が抜け切れず、出鼻をくじかれた形で戦闘モードが失せてしまいました。

結局この日は最後までドブを設置することなく、人様の機材におんぶにだっこでメシエマラソンを楽しんだのでした。早い話が良いとこ取りですね。



強風の最中、いっしょに設置を開始したアミーゴさんと愛機のMT130。彼の行動が呼び水となって皆さん機材の設置を始めたのですから、この勇気は称賛に値します。彼も果敢にメシエマラソンに参加しましたが、手持ちの資料を片手に40個ほどの対象を捕捉されたようです。

今夜のアミーゴさんは敢闘賞ですね。

今年に入り出勤頻度の高いつくさんと定番のTOA130。メシエマラソンにこだわらずいつものマイペースで色々楽しんでおられたようですが、難物の観望には時々手を差し伸べてくれました。北側と南側低空の光害が目立つ湯河原では淡いDSOの検出は時に至難の業なのですが、このTOAときたら光害地では確認すら難しいM101やM83らの難物も何とか捉えてくれました。

延長筒の装填により天頂付近の観望も楽々で、その性能も含めこの筒やはり只者ではないです。



肝心のメシエマラソンですが、まだ誰も設置を開始しない中、このまま待機するのもシヤクだったので取りあえず手持ちの8×42mm双眼鏡で西から順番に掃天してみました。

スタートはDSO中心のオーダーでいきなりの難易度MAXですが、確認できたのはM31のみ。M74、77、33、32、110は欠片すら見えません。この空でこの機材では当然と言えばそれまでですが、M74なんてメシエ天体の中でも難物の一つだし、あの低空ではM33ですらも怪しいもので、フェイスオン銀河をこの位置で捕捉するには土台無理があります。M76もこの倍率ではハナから対象外でしたが、M103はかろうじて捕捉できました。

悔やまれるのはM52とM34を見落としたりした事。これは完全に私のミスで、もの見事に存在を忘れていました。M52の方は夜明け前にとワンチャンスありますが、M34は完全に諦めです。結局第1ステージは2個のみという悲惨な結果でした。

続いて冬の空に移動。M1、43、78、79は後回しにして、ぎょしゃ〜とも座までの散開星団は全て確認できました。



やや遅れてご友人と一緒に到着したsekiyaさんと愛機のBJ100セミアポ。結論から言うと、ことメシエマラソンに関しては無敵と言っても良いほど素晴らしい成果を残しました。10cmの口径と広角視野にアクティビティの良さを備えた組み合わせは正に最強。遅れて登場にもかかわらず91個の結果はご立派の一言です。

私も半数近くの対象をご相伴に預かりましたが、おとめ座銀河団の対象も

思いの外よく見えたのには正直驚きました。おかげでこの場所からほとんど離れることなくコバンザメ状態になり、冬の対象の積み残しも全て確認しました。



場内に並んだ機材群。

左から順に、うらしまさんのC8-EX、ハセガワさんのFS128、斉藤さんのMeadeETX-70AT、sekiyaさんのBJ100、つくさんのTOA、アミーゴさんのMT130。うらしまさんのC8では、M97&108、M95、96、105のトリプレット、M65、66などおぐま〜ししのDSOを見せて

もらいました。ロストメシエのM40、102なども良く見えましたね。



ハセガワさんといつもの FS128。  
メシエマラソンに備えてかマウントは  
スカイセンサー搭載の GP 仕様でした  
が、大半の対象は手動で導入されてい  
ました。結果は如何だったのでしょ  
うか。

メシエマラソンに戻ります。sekiya さんの BJ でメシエマラソン最大の難所と言われるかみのけ～おとめ座の対象をこなしましたが、この機材ならほとんど一網打尽状態です。銀河の密集地帯だけあって不慣れな方だと対象の特定に骨が折れそうですが、そこそこ明るい対象が多く、ポイントさえ把握すれば決して難しい場所ではありません。

**10cm 級の機材さえあれば丁寧に辿れば必ず制覇出来ます。**

今回最も苦労した対象の一つが M83 でした。星団なら低空でも何とかかなりますが、系外銀河でしかも表面輝度の低いフェイスオンタイプとあっては自ずと難易度も上がります。南天低空の光害が目立つ湯河原ではこの日最大級の難物でしたが、BJ では捕捉できず、つくさんの TOA でようやくシミのような姿を捉えた時には正直言って疲れ果てました。

へびつかい周辺の GC 群をサクッとこなし、後はいて座を含むラストスパートを迎える前に夜食休憩を採っていたところ、何と東側低空に雲が発生してきたではありませんか。

慌ててオーナー不在の BJ を拝借していて座の対象を片っ端からやっつけますが、M54、55、75、72、73、15、2、30 は最後までその姿を現す事はありませんでした。M54 のすぐ隣の M70 までは雲との境界線ギリギリに見えていただけに惜しいことをしました。

結局序盤に見損ねた DS0 類と合わせて 15 個の対象を見逃した事になりました。

最終結果はロストメシエの 40、91、102 も含めて 95 個捕捉する事が出来ましたが、半数以上が自力導入ではないので私の場合は参考記録ですね。

改めて振り返ってみると、前回開催した 2003 年以来 7 年振りに見た対象が幾つかある事に気がきました。M83 はその最たるもので、場所すらロクに覚えておらず星図片手に苦労しながらの導入だったし、おとめ座銀河団東部も同様で、C8 で見せていただいた M95、96、105 のトリプレットにも意外と手こずりました。とは言え、大半が普段見ている DS0 よりも遙かに明るい対象なので、事実上の最大難所とも言えるスタートの M74、77 とオーラスの M30 さえクリアできれば完走はそれほど難しい事でもないと思うのですが、その 3 つを見つけ

るのが如何に困難かをいろいろと聞いているだけに、天文ファンにとっても挑戦意欲を掻き立てるイベントの一つなのでしょうね。

メシエマラソンは3月中旬が開催好機と言われますが、もう少し細かく言うと、スタートのM74とラストのM30の間付近に太陽が入る3月20日頃が最適となり、それより早いと明け方の対象が、それより遅いと夕方の対象がそれぞれ難易度が高くなります。帰宅後、丹星にも顔馴染みの多いアマゾンさんより、福島県星の村で開催されたメシエマラソンの速報が届きました。アマゾンさんはロストメシエ3個を除き105個の対象を捕捉されたそうです。ロスした2個のうち、一つは雲に阻まれたM68で、もう一つはやはりM30とのこと。前述の理由からも一週間後なら完全制覇を成し遂げられた事でしょう。

この日は序盤こそ強風に見舞われたものの、一晩中ほぼ快晴の空に恵まれ快適な観望を楽しめた一夜でした。一晩中お世話になった丹星の仲間には感謝で一杯です。この場を借りて改めて御礼を申し上げます。

今週末も天候に恵まれれば観望に出向く予定です。

どちらかと言うと対象をじっくりと見るのが好きな私にはメシエマラソンはそれほど乗り気にさせるイベントではありませんが、今回の結果にはやや不満でしたので、気が向いたらリベンジするかも知れません。序盤に細い月がありますが、まあ何とかなるでしょう。

※掲載の写真は全て丹星うらしまさん撮影

了